

競 技 上 の 注 意

1. 本大会は2022年（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. 混成大会上位4名までの入賞者（1・2年生のみ）は次年度高校総体へのシード権を得る。
3. 本競技会に参加するに当たり下記に示す提出物を必ず提出すること。
必要な書類の提出がない場合は出場が認められなくなります。
 - （1）様式1「健康チェックシート」、様式2-2「【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を来場初日に送付書付きで各校まとめて受付に提出（原則として朝のうちに）する。（両面印刷）
 - （2）大会参加2日目から大会終了後2週間の体調を記録し、様式3「【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を各校顧問に提出する。各校顧問は必要に応じ提出できるよう保管しておく。大会期間中の生徒の体調は各校顧問で確認し、健康チェックシートにチェックがつかない生徒は各校顧問の責任の下大会参加を見合わせる事。
4. 招集について
 - （1）招集では、競技者は招集集合時刻までに招集所に集合し、掲示されたエリアで待ち、競技者係より胸背部のアスリートビブス（※ナンバーカード。以下すべてアスリートビブス）と腰ナンバー標識、スパイク、シューズ、（本大会はWA規則143条TR5を適用する。100m～300m、100mH、110mJH、300mHはソールの最大の厚さが20mmを超えるシューズは使用できない。800m以上は、ソールの最大の厚さが25mm（※5000mWは40mm）を超えるシューズは使用できない。トラック競技出場者は招集の際申し出て、事前に検定を受けることができる。）の確認を受けた後、競技者係の誘導に従って競技場内に入場する。
 - （2）招集は、代理人は認めない。
 - （3）競技を棄権する場合には「棄権届」を招集所競技者係に提出する。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。
5. 競技者の変更は認めない。
6. アスリートビブス、腰ナンバー標識は各校で準備し、トラック種目出場者は胸背部と腰部（右腰後方）、フィールド種目出場者は胸背部（跳躍競技は胸部・背部のみでもよい）につける。
7. 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
8. ゴミ処理について
ゴミは、各自で必ず持ち帰ること。

9. バーのあげ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9
八種走高跳	1.35 1.60	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64	1.67	1.70
七種走高跳	1.15 1.40	1.20	1.25	1.30	1.35	1.38	1.41	1.44	1.47	1.50

10. ハードル補助員

1・2台目 佐和 3・4台目 中央 5・6台目 牛久栄進 7・8台目 牛久 9・10台目 つくば秀英

11. 競技者・補助員以外の競技場内への立ち入りを禁止とする。

12. プログラムの氏名・アスリートビブスなどに訂正がある場合は、招集所で行うこと。

13. 助力については、競技規則第144条に従う。なお、スタンドからの映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像の確認は認めない。

14. 応援について

感染症拡大防止の観点から次のように規制します。

(1) 競技場は関係者（選手、競技役員、補助員、選手の保護者等）のみ入場（入場の際は、必要な様式を提出すること。）することができずその他無観客での実施とする。

(2) 声を出しての応援は禁止とする。（拍手等の応援のみ）

練習会場での注意事項

1. 練習は各校監督のもと、事故防止に十分配慮すること。

2. 補助競技場では危険が伴うので、十分注意して行うこと。

3. 補助競技場等のウォームアップエリアへは混雑を回避（密を防ぐ）するために付添等は入らないこと。

4. 補助競技場の使用レーンについては次の通りとする。

1～2 レーン：中・長距離、 3～6 レーン：短距離、 7～8 レーン：ハードル

5. 補助競技場の使用については16：30をもって終了する。